

# エコアクション21 環境経営レポート

対象期間 2022年4月1日～2023年3月31日



ブルーテクノ株式会社

広島県三原市宗郷二丁目3番35号

TEL: (0848) 67-5611

FAX: (0848) 38-7993



ひろしま企業健康宣言  
健康づくり優良事業所

発行日: 2023年6月23日

# 目 次

- 環境経営方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 取組の対象組織・活動・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
  - 会社概要
  - 事業規模
  - 認証・登録の対象組織・活動
- 環境経営システム組織図・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
  - 各部門の役割
- 環境経営目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 実績と環境経営目標達成状況・・・・・・・・・・・・ 5
- 環境経営目標及び計画の実績検証と次年度の取組・・ 6～18
  - 本社
  - 浄化センター
  - 目標達成に向けた取組等
  - 地域貢献・環境活動の取組
- 環境関連法規への違反、訴訟の有無・・・・・・・・ 19
- 代表者による全体の評価と見直し・指示・・・・・・・・ 20～21

# 環境経営方針

私たちは、地域住民の健康で快適な生活環境の向上と公共用水域の水質を保全することが、地球環境の保全に寄与することと認識し、

当社の基本方針である「地域社会に貢献し、信頼される会社をめざします」を実行するため、

下水道処理施設の運転管理業務を通じて、社員一人ひとりが未来へつなぐ環境づくりのために、地球環境に配慮した行動を主体的に取り組むことで、持続可能な社会を目指した事業活動を行います。

## 《活動指針》

### 1. 当社は、具体的に次の取組を行います。

- ① 電力の消費に伴う二酸化炭素排出量を原単位で削減します。
- ② 化石燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量を削減します。
- ③ 廃棄物排出量の削減と、再資源化を促進します。
- ④ 水使用量の削減を図ります。
- ⑤ 毒物劇物等の化学物質を適切に管理し、適正量の使用に努めます。
- ⑥ 事務用品のグリーン購入を推進します。
- ⑦ 良好な放流水を確保することによって、水環境への負荷の低減に努め、沼田川及び瀬戸内海の環境保全に努力します。
- ⑧ 地域や社会に貢献した活動に取り組みます。

これらについて環境経営目標・計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。


### 2. 環境関連法規等や当社が約束したことを順守します。

### 3. 環境への取り組みを環境経営レポートとしてとりまとめ公表します。

制定日：2013（平成 22）年 7 月 1 日

改定日：2022（令和 4）年 11 月 1 日

ブルーテクノ株式会社 代表取締役



# 取組の対象組織・活動

## 🌱 会社概要

- 会社名 ブルーテクノ株式会社
- 代表者名 代表取締役 篠澤 浩二
- 所在地 広島県三原市宗郷二丁目 3 番 35 号
- 設立 平成 7 年 10 月 16 日
- 資本金 1,050 万円
- 売上高 39,296 万円 (2022 年度)
- 事業年度 4 月～翌年 3 月
- 事業内容 公益財団法人 広島県下水道公社からの委託を受けた  
下水道処理施設の運転管理
- 担当者 土井田 智雅子
- 連絡先 Tel: (0848) 67-5811 Fax: (0848) 67-5810  
E-mail : info@blue-techno.co.jp



弊社 HP

## 🌱 事業規模

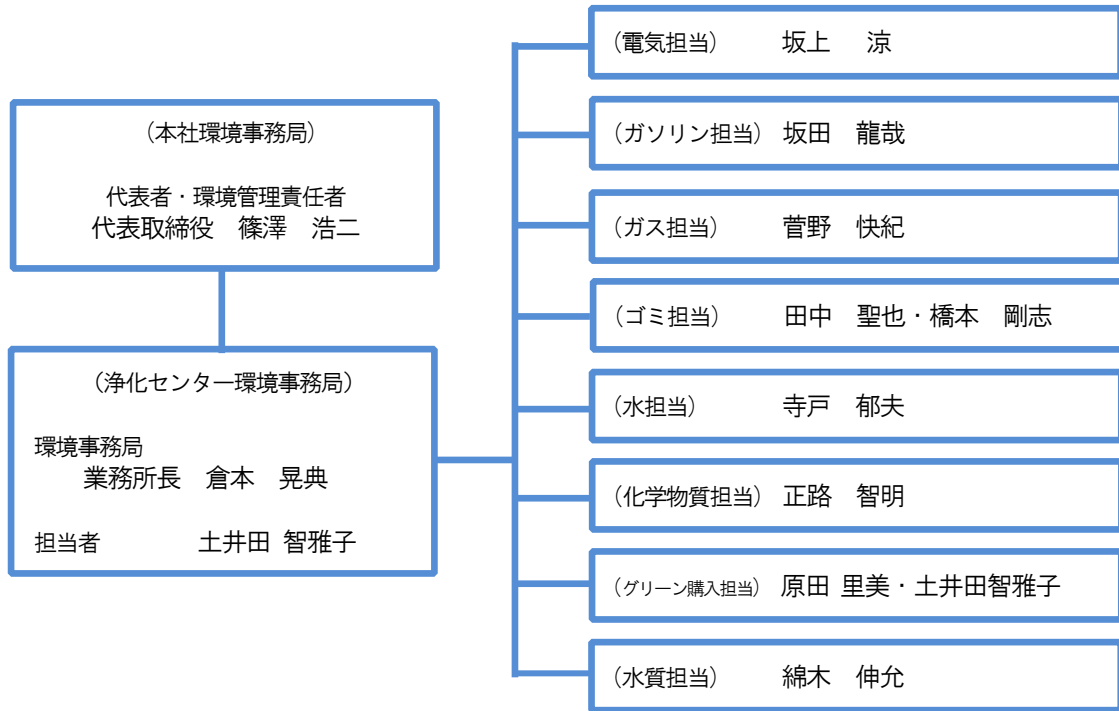
- 従業員数 23 人
- 延べ床面積 32.39 m<sup>2</sup> (本社) 12,236.90 m<sup>2</sup> (沼田川浄化センター)
- 処理水量 5,229 千m<sup>3</sup> (2022 年度)

## 🌱 認証・登録の対象組織・活動

- 登録組織名 本社
- 活動 下水道処理施設の運転管理業務

# 環境経営システム組織図

更新日：2022年5月2日



## 各部門の役割

代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・代表者による全体の評価と見直しを実施・環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・法規制等の要求事項登録簿を承認</li> <li>・環境経営計画書を承認</li> <li>・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>・「環境関連法規等チェックリスト」の作成</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書原案の作成</li> <li>・環境経営計画の実績集計</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・環境関連の教育訓練の実施及び教育訓練の記録</li> </ul>
担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当に関連する環境経営目標及び環境経営計画の実施及び取組状況の報告</li> <li>・担当の問題点の発見、是正、予防処置</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針の周知と環境への取組の重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的な環境経営活動への参加</li> </ul>

# 環境経営目標

## ○ 環境経営目標

(2021年度の実績を基準値とし、2022~2024年度の環境経営目標を策定しております。)

項目			単位	基準値		目標値					
				2021年度	短期		中・長期				
					2022年度	2023年度		2024年度			
					削減割合		削減割合		削減割合		
二酸化炭素排出量	電力	浄化センター	原単位(電力/放流量)	kWh/m <sup>3</sup>	0.7276	0.7203	対前年度比 1.0%減	0.7131	対前年度比 1.0%減	0.7060	対前年度比 1.0%減
				kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>3</sup>	0.3340	0.3306		0.3273		0.3240	
		【参考】電力量		kWh/年	3,812,591	3,774,465	—	3,736,720	—	3,699,353	—
				kg-CO <sub>2</sub> /年	1,749,979	1,732,479		1,715,154		1,698,003	
		本社	電力量		kWh/年	1,386	1,385	0.1%減	1,383	0.2%減	1,382
				kg-CO <sub>2</sub> /年	811	810		809		809	
	燃料	浄化センター	★ ガソリン	km/L	15.76	15.76	現状維持	15.76	現状維持	15.76	現状維持
			【参考】CO <sub>2</sub> 排出量	kg-CO <sub>2</sub> /年	1,453	1,453		1,453		1,453	
			LPG	m <sup>3</sup> /年	29,615	29,585	0.1%減	29,556	0.2%減	29,526	0.3%減
		kg-CO <sub>2</sub> /年		184	184		184		183		
本社		ガソリン	km/L	14.99	14.99	現状維持	14.99	現状維持	14.99	現状維持	
	【参考】CO <sub>2</sub> 排出量	kg-CO <sub>2</sub> /年	3,338	3,338		3,338		3,338			
廃棄物排出量	一般廃棄物	★ 浄化センター	kg/年	682.00	682.00	現状維持	682.00	現状維持	682.00	現状維持	
		★ 本社	kg/年	9.32	9.32	現状維持	9.32	現状維持	9.32	現状維持	
	産業廃棄物	浄化センター	kg/年	659.37	659.37	現状維持	659.37	現状維持	659.37	現状維持	
水使用量	上水道使用量	浄化センター	m <sup>3</sup> /年	1,008.94	1,007.93	0.1%減	1,006.92	0.2%減	1,005.91	0.3%減	
化学物質使用量	対象物質購入量	浄化センター	kg/年	対象物質購入量把握							
グリーン購入法適合商品の購入	浄化センター	品/年	グリーン購入法適合商品購入数確認(新種品購入時)								
	本社	品/年									
放流水排水基準の遵守	COD	浄化センター	mg/L	自己管理基準値以下(14.0mg/L以下)							
	BOD			自己管理基準値以下(5.0mg/L以下)							
地域貢献活動の推進	浄化センター	—	地域貢献活動を適宜実施								

※ 基準値は、2021年度の実績値とします。

・ 2021年度目標未達成項目で、2021年度の結果を勘案した結果、基準値を2020年度の実績値とした項目(項目欄: ★印)

※ 浄化センターの電力の基準値及び目標値は、電力使用量ではなく、原単位(放流量1m<sup>3</sup>あたりの電力使用量(kWh))としています。

※ 基準値の電力量二酸化炭素排出係数は、以下の通りです。

・ 本社は、0.585 kg-CO<sub>2</sub>/kWh(令和1年度 中国電力 二酸化炭素調整後排出係数)としています。

・ 浄化センターは、0.459 kg-CO<sub>2</sub>/kWh(平成30年度 新出光 二酸化炭素調整後排出係数)としています。

※ ガソリンの基準値及び目標値は、自動車燃料の使用量ではなく、燃料消費率(燃費)としています。

※ 電力(浄化センター)、ガソリン(本社・浄化センター)の二酸化炭素排出量は参考値とします。

※ 本社は、ガスが供給されていないため、ガス使用量削減の活動は行っていません。

※ 本社の水道施設は、ビル共用により、データがありません。

※ 化学物質使用量は、使用量が微量なため購入量把握及び適正使用を目標としています。評価は、年間を総合して行います。

※ 放流水排水基準の遵守に関しては、法定基準より厳しい自主目標基準値を設けて管理し、評価は、年間を総合して行います。

# 実績と環境経営目標達成状況

## ○ 環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況、その評価結果

項目	単位	基準値		目標値		実績		達成判定	
		2021年度		2022年度		2022年度			
					増減割合		増減割合		
二酸化炭素排出量	電力 浄化センター	原単位（電力/放流量）	kWh/m <sup>3</sup>	0.7276	0.7203	対前年度比 1.0%減	0.7391	1.58%増	×
			kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>3</sup>	0.3340	0.3306		0.3289		
		【参考】電力量	kWh/年	3,812,591	3,774,465	-	3,862,044	-	
			kg-CO <sub>2</sub> /年	1,749,979	1,732,479		1,718,610		
	本社	電力量	kWh/年	1,386	1,385	0.1%減	1,427	2.96%増	×
			kg-CO <sub>2</sub> /年	811	810	834.80			
	燃料 浄化センター	★ ガソリン（燃費） 【参考】ガソリン使用量からのCO <sub>2</sub> 排出量	km/L	15.76	15.76	現状維持	14.18	10.02%減	×
			kg-CO <sub>2</sub> /年	1,453.39	1,453.39	1,403.39			
		LPG	m <sup>3</sup> /年	29,615	29,585	0.1%減	29.99	1.27%増	×
			kg-CO <sub>2</sub> /年	184	184	186.25			
本社	ガソリン（燃費） 【参考】ガソリン使用量からのCO <sub>2</sub> 排出量	km/L	14.99	14.99	現状維持	15.16	1.13%増	○	
	kg-CO <sub>2</sub> /年	3,338	3,338	2,894.04					
廃棄物排出量	一般廃棄物	★ 浄化センター	kg/年	682.00	682.00	現状維持	613.50	10.04%減	○
		★ 本社	kg/年	9.32	9.32	現状維持	12.29	31.87%増	×
	産業廃棄物	浄化センター	kg/年	659.37	659.37	現状維持	378.60	42.58%減	○
水使用量	上水道使用量	浄化センター	m <sup>3</sup> /年	1,008.94	1,007.93	0.1%減	870.96	13.68%減	○
化学物質使用量	対象物質購入量	浄化センター	kg/年	対象物質購入量把握		0.00	-	○	
グリーン購入	浄化センター	品/年	グリーン購入法適合商品購入数確認 （新種品購入時）		1	-	○		
	本社	品/年			0	-	○		
放流水排水基準の遵守	COD	浄化センター	mg/L	自己管理基準値以下（14.0mg/L以下）		-	-	○	
	BOD			自己管理基準値以下（5.0mg/L以下）		-	-	○	
地域貢献活動の推進	浄化センター	-	地域貢献活動を適宜実施		-	-	○		

※ 2022年度の二酸化炭素総排出量は、1,733,707.51 (kg-CO<sub>2</sub>) です。

※ 基準値は、2021年度の実績値とします。

・ 2021年度目標未達成項目で、2021年度の結果を勘案した結果、基準値を2020年度の実績値とした項目（項目欄：★印）

※ 浄化センターの電力原単位は、放流量1m<sup>3</sup>あたりの電力使用量(kWh)としています。

※ 本社の電力量二酸化炭素排出係数は、0.585 kg-CO<sub>2</sub>/kWh（令和1年度 中国電力 二酸化炭素調整後排出係数）とします。

※ 浄化センターの電力量二酸化炭素排出係数は、2022年度に電力会社が変わったため、以下のとおり定めます。

・ 基準値及び目標値は、0.459 kg-CO<sub>2</sub>/kWh（平成30年度 新出光 二酸化炭素調整後排出係数）とします。

・ 2022年度実績値は、0.445 kg-CO<sub>2</sub>/kWh（令和1年度 中国電力ネットワーク 二酸化炭素調整後排出係数）とします。

※ ガソリンは、自動車燃料の使用量ではなく、燃料消費率（燃費）としています。

※ 換算係数は、ガソリン：2.32kg-CO<sub>2</sub>/L、LPG：3.00kg-CO<sub>2</sub>/kg（1m<sup>3</sup>=2.07kg）とします。

※ 電力（浄化センター）、ガソリン（本社・浄化センター）の二酸化炭素排出量は参考値とします。

※ 本社は、ガスが供給されていないため、ガス使用量削減の活動は行っていません。

※ 本社の水道施設は、ビル共用により、データがありません。

※ 化学物質使用量は、使用量が微量なため購入量把握及び適正使用を目標としています。評価は、年間を総合して行います。

※ 放流水排水基準の遵守に関しては、法定基準より厳しい自主目標基準値を設けて管理し、評価は、年間を総合して行います。

※ 達成判定の評価は、【○】：目標値達成、【△】：目標値の1%以内、【×】：目標値未達成としています。

# 環境経営目標及び計画の実績検証と次年度の取組

## 🌱 本社

### ① 電力使用量の削減

#### ○ 取組内容

- ・退室時に不要な照明は消灯する
- ・コピー機（複合機）を省エネモードにする
- ・エアコンの設定温度を夏は室温 25℃・冬は室温 20℃に調整する

#### 【実績検証】

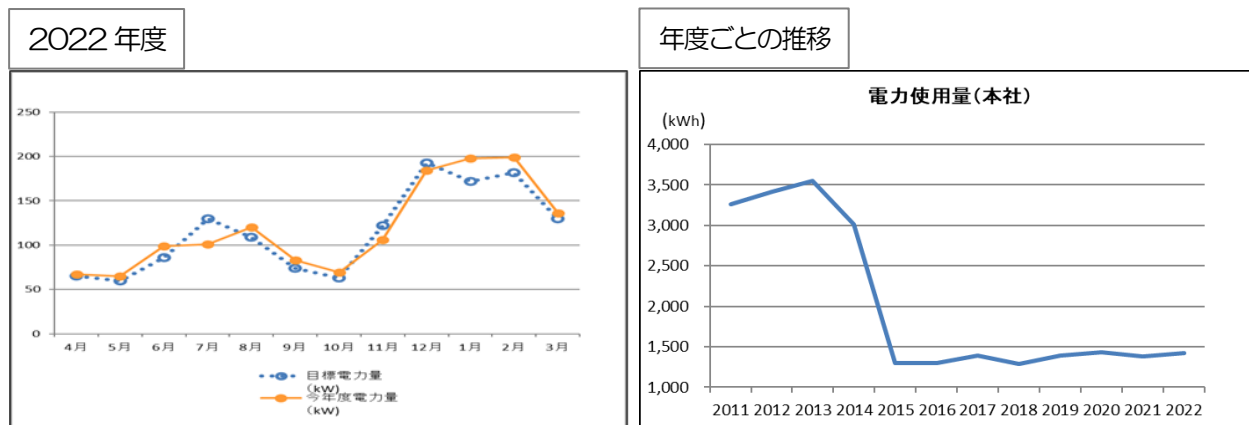
取組み内容について、年間を通して実践することができた。

本社は事務所が小さく使用電力量が少ないため、その年の天候により電力量の増減が顕著に表れます。冷暖房使用時の外気温や湿度、作業者の体調等を考慮しながら、無理のない範囲での室温管理の取組及び使用していない電化製品の電源をこまめに切ることで電力量削減対策を行っています。

今年度は、年間を通して目標値付近を推移していましたが、目標値は達成できませんでした。感染症対策として、冷房及び暖房稼働時でも換気を継続して行っていることも電力量増加の一因と考察します。

#### 【次年度の取組み】

不要な電源を切ることや、室温や湿度に応じた空調使用の取組みを行います。また、クールビズ・ウォームビズの取組みも推奨していきます。



### ② 自動車燃料の削減（燃費の向上）

#### ○ 取組内容

- ・エコドライブの推進

#### 【実績検証】

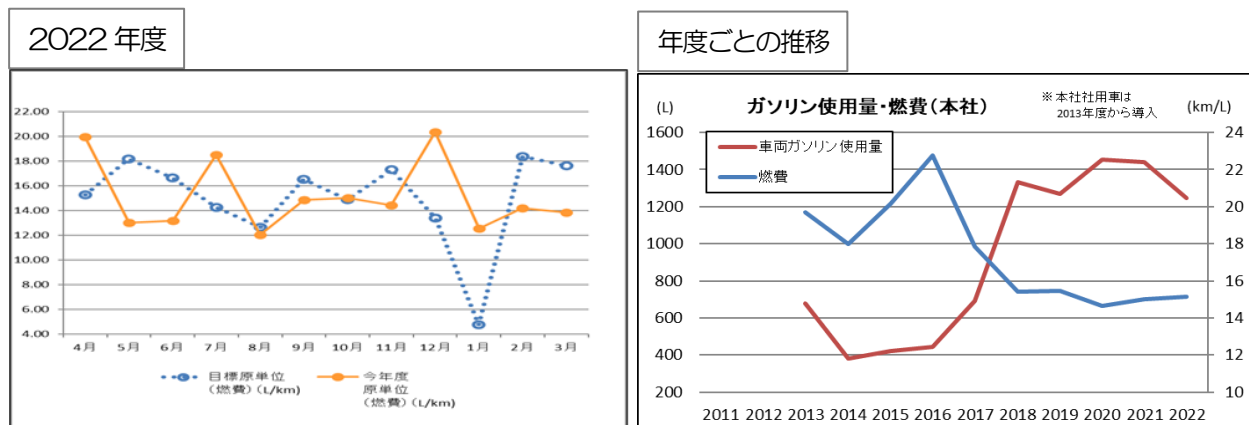
目標値である2021年度実績値（14.99km/L）に対し、今年度は15.16km/Lと、目標値を達成することができました。

年間推移のグラフを見ても、2016年から燃費が悪くなっていましたが、2020年度からは燃費が改善されています。営業車として使用しているため、使用状況で燃費が大きく変動しますが、『エコドライブの推進』の取組ができた結果と考察します。



**【次年度の取組み】**

急加速の抑制やエアコン設定温度及びアイドリングの見直し等、エコドライブを推進し、エコドライブを習慣化することで燃費改善に繋げていきます。



**③ 一般廃棄物の削減**

○ 取組内容

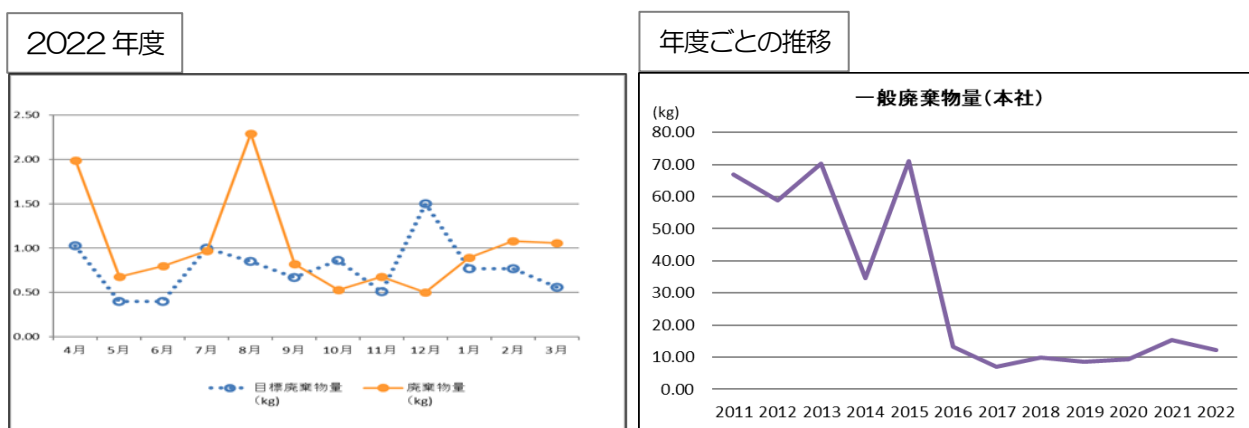
- ・裏紙の使用と両面印刷の活用
- ・ゴミの分別, リサイクルの実施

**【実績検証】**

裏紙の使用・両面印刷の活用、ゴミの分別は年間を通して取り組むことができたが、目標値を超える結果となりました。本社は総廃棄物量が少ないため、感染症対策を講じることにより発生するペーパータオル等の廃棄物量が増加したこと、また、事務所の改修工事に伴う廃棄物が発生したことも、目標値を超えた原因と推察します。

**【次年度の取組み】**

3S 活動・改修工事などで一時的に廃棄物が増加する場合がありますが、引き続き感染症対策を講じつつ、両面印刷・裏紙の使用や、資源化の取り組みなどで廃棄物の減量に努めてまいります。



#### ④ 上水道使用量の削減

##### ○ 取組内容

- ・ 節水を心掛ける

##### 【実績検証】

水道はビル共用のため使用量の把握はできませんが、各自で節水を心掛けました。

##### 【次年度の取組み】

来年度からビル共用ではなく戸別検針になるので、まずは現状把握に努めます。  
引き続き、水を出しっぱなしにしない等、節水を心掛けていきます。

#### ⑤ グリーン購入の推進

##### ○ 取組内容

- ・ 事務用品は、グリーン購入法適合商品を購入する

##### 【実績検証】

2020年度からは、新種類の物品購入時を対象としてグリーン対応品購入数の把握を行っています。  
2022年度は、新種類の物品購入はありませんでした。

##### 【次年度の取組み】

購入時にはグリーン購入法適合商品の有無を確認するとともに、現在使用している事務用品がグリーン購入法適合商品でない物品は、買い替え時に可能な範囲でグリーン購入法適合商品へ移行することを心掛けていきます。

## ① 電力使用量の削減（放流水原単位の削減）

### ○ 取組内容

- ・退室時に不要な照明は消灯する
- ・エアコンの設定温度を夏は室温 25℃・冬は室温 20℃に調整する
- ・機器運転の効率化（停止可能な機器の停止など）を図る。

### 【実績検証】

取組み内容について、年間を通して実践することができた。

2022 年度から契約電力会社が変わったため、基準年（2021 年）と今年度の換算係数は、それぞれの契約電力会社の値にしました。それ故、二酸化炭素排出量は前年度よりも 1.52%減少していますが、活動項目の原単位で比較すると、前年度実績値（0.7276kWh/m<sup>3</sup>）に対し、今年度実績値（0.7391kWh/m<sup>3</sup>）は 1.58%増加という結果となり、1.0%削減としていた目標値を達成することができませんでした。

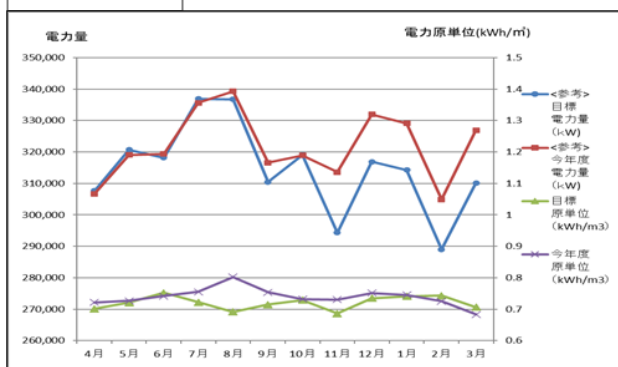
2/4 半期までは、前年度と比較して、放流量にあまり差がない状態で、使用電力量が少ないにも関わらず、原単位が増加していたので、多数の業者が施設増設工事に伴う作業を行った影響が、目標値を超えた原因の 1 つであると推察します。

### 【次年度の取組み】

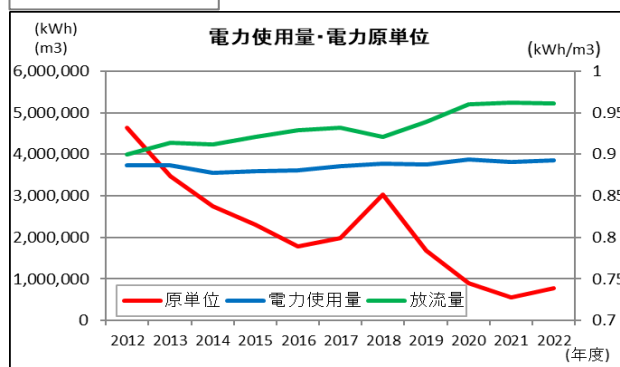
来年度から増設された施設の運用が始まるため、電力使用量の増加が見込まれます。また、処理する水質状況によって施設の稼働状況が変わりますが、弊社で規定している放流水排水基準値の水質を保ちながら、機器運転の効率化を図っていきます。

事務所内及び施設内の電気削減活動においては、施設全体の使用電力量が大きいため成果が見え難いですが、作業後退室時の消灯及び空調設備の設定温度の管理など、各自が実行できる行動の積み重ねを継続することで、節電を推進していきます。

2022 年度



年度ごとの推移



## ② 自動車燃料の削減（燃費の向上）

### ○ 取組内容

- ・エコドライブ定着化
- ・場内は、徒歩や自転車での移動を推進する。

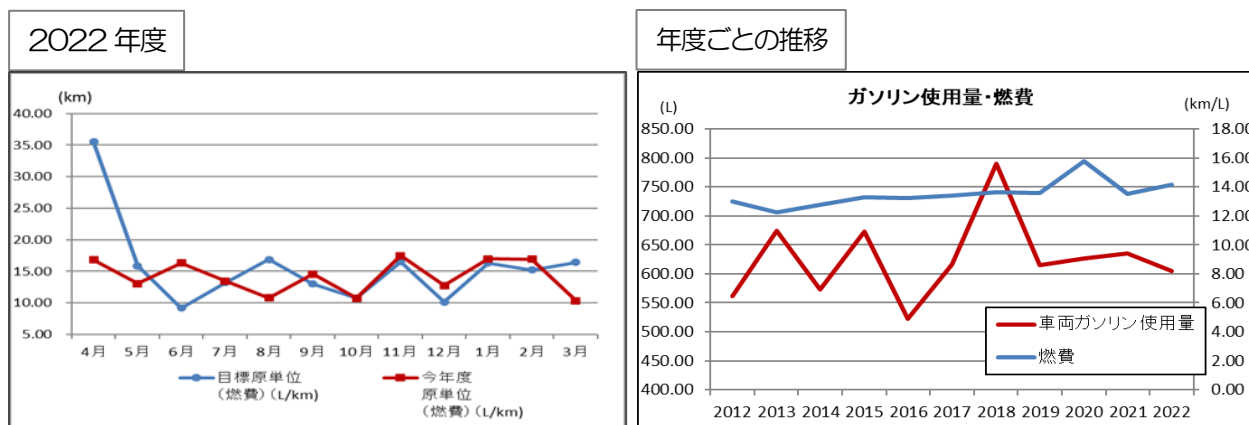
### 【実績検証】

全社員への「エコドライブ」の啓発を図り、定着化に向けて取り組むことができた。

目標値である2020年度実績値（15.76km/L）に対し今年度は14.18km/Lという結果となり、目標値は達成できませんでしたが、前年度の実績値（13.55km/L）と比較すると、微量ながらも燃費が良くなりました。

#### 【次年度の取組み】

車の運転時は、できる限り「急」のつく運転をしない、エアコンの設定温度等をこまめに調整する等「エコドライブ」を実践していくことで、燃費向上に繋がっていきます。また、場内は、積極的に徒歩や自転車で移動することを推奨していきます。



### ③ LPG 使用量の削減

#### ○ 取組内容

- ・ 給湯器温度の適温化を図る。

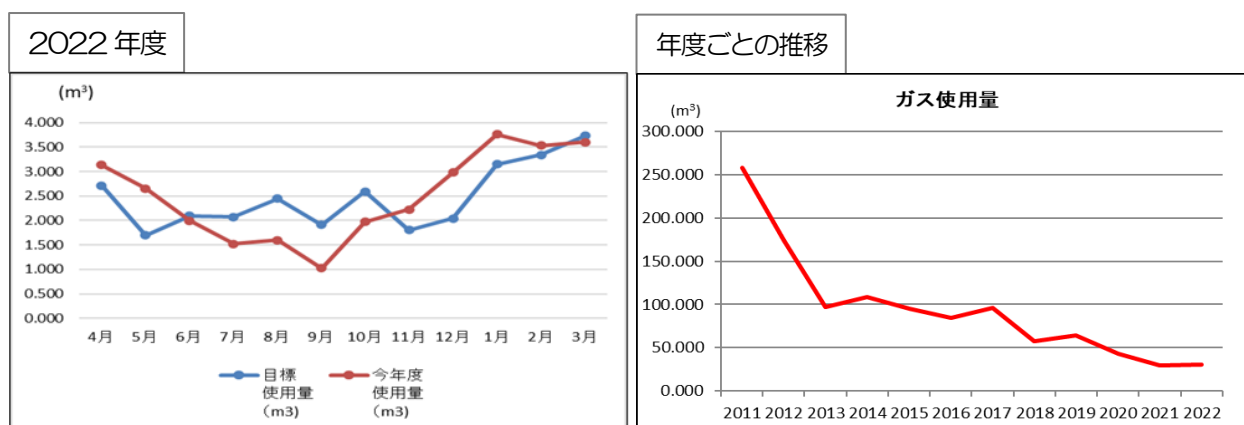
#### 【実績検証】

給湯温度の設定をこまめに変更する取組みを、年間を通してを行うことができた。

6月に事務所のガスコンロをIHに変更したことで、夏期は大幅な使用削減となりましたが、2021年度に削減対策として行っていた、年間を通して給湯器の電源を切るという活動には無理があると感じたため、今年度は冬期に給湯器の電源を入れたままにしたことが、目標値よりも微量（0.406m<sup>3</sup>）ですが使用量が増加し、目標が達成できなかった要因と考察されます。

#### 【次年度の取組み】

手洗いとしてお湯が基本的に不必要な時期は給湯器の電源を切り、シャワー等使用時に電源を入れる。給湯器使用時は、設定温度を熱くし過ぎないなどの取組みを積み重ねていくことで、削減意識の定着化を目指します。



#### ④ 廃棄物の削減

##### ○ 一般廃棄物・産業廃棄物 取組内容

(一般廃棄物)

- ・書類の簡素化・電子化、複合機の機能の活用
- ・3Sの実施

(産業廃棄物)

- ・整備及び再使用の実施
- ・ゴミの分別、リサイクルの実施

##### 【実績検証】

(一般廃棄物)

タブレット・パソコン端末の利用や、3S活動に取り組みました。

今年度は施設内の大掛かりな整理整頓に伴う廃棄物が発生した場合を除いて、目標値を達成することができました。

(産業廃棄物)

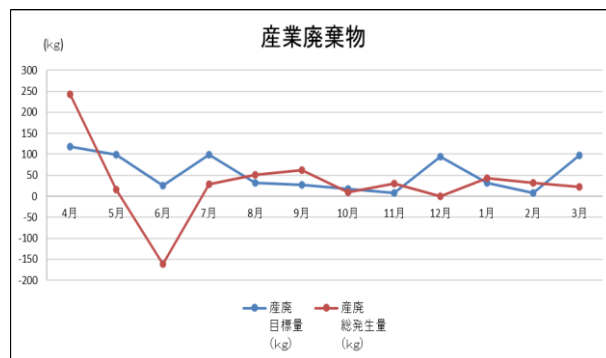
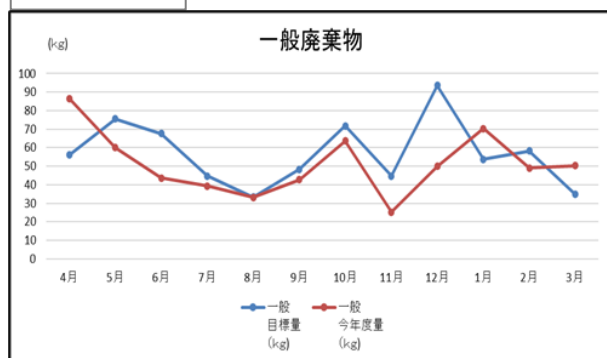
3S活動に取り組むことで廃棄物の減量化を推進することができ、目標値を達成することができました。

修理及び交換業務に伴う機器・部品の廃棄物重量は、作業内容によって大きく変動します。基準年の動向にあわせて廃棄量の管理を行っていくことはできませんが、施設の老朽化及び経年劣化に伴う修理業務が年々増加していくと推察されるため、廃棄物が増加していく可能性があることも、視野に入れておく必要があります。

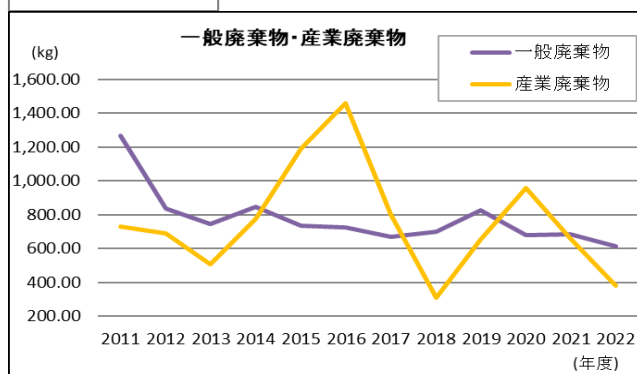
##### 【次年度の取組み】

不要な廃棄物を出さないよう心掛けていくとともに、3S活動・分別の徹底、IT（パソコン・タブレットなど）活用による書類の簡素化に取り組んでいきます。

##### 2022年度



##### 年度ごとの推移



## ⑤ 上水道使用量の削減

### ○ 取組内容

- ・ 節水の徹底
- ・ 処理水の利用

#### 【実績検証】

今年度の使用量は、年間を通して目標値よりも下回りました。

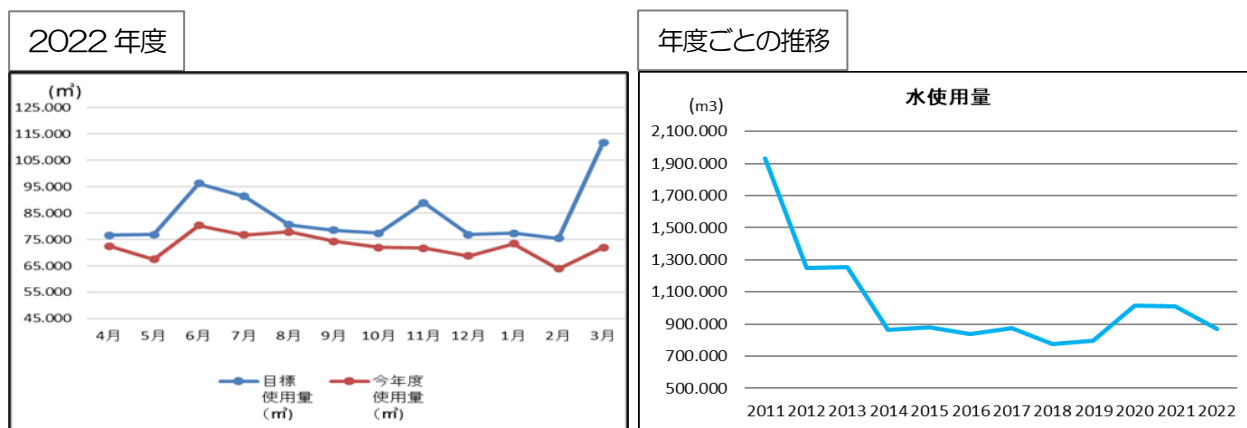
浄化センターの上水は、広島県下水道公社様と共有のメーターを使用しているため、社内のみでの使用量把握ができません。

2020年8月から今年度末までは、設備工事及び施設増設工事に伴い多数の業者が上水を使用している状況でしたが、使用後の蛇口を確実に閉める、水を出しっぱなしにしない等の節水活動に取り組むことができました。

#### 【次年度の取組み】

来年度からは基本的に長期作業を行う業者は入らない予定なので、改めて使用量の把握をしていきます。

樹木や花の水やりは処理水を利用する、使用時は水の勢いを調整し、蛇口を確実に閉める等、衛生的な作業環境を確立しながら取り組むことのできる節水活動を継続することで、節水意識の定着化を目指します。



## ⑥ 化学物質使用量の把握

### ○ 取組内容

- ・ 特定化学物質が含まれている塗料の購入量の把握を行う

#### 【実績検証】

使用量が微量なため管理は行わず、購入している塗料に関するPRTR法に記載されている化学物質量の把握を目標として掲げ、塗料購入量の把握の取り組みを行っています。

今年度は、PRTR法に記載されている化学物質が含まれている塗料等の購入はありませんでした。

#### 【次年度の取組み】

塗料使用の効率化及び適正な管理に努めてまいります。

## ⑦ グリーン購入の推進

### ○ 取組内容

- ・ 事務用品は、グリーン購入法適合商品を購入する

#### 【実績検証】

2020年度からは、新種類の物品購入時を対象としてグリーン対応品購入数の把握を行っています。  
今年度は1種類の物品購入があり、グリーン購入法適合商品を購入しました。

#### 【次年度の取組み】

引き続き、購入時にはグリーン購入法適合商品の有無を確認するとともに、現在使用している事務用品がグリーン購入法適合商品でない物品は、買い替え時に可能な範囲でグリーン購入法適合商品へ移行することを心掛けていきます。

## ⑧ 放流水排水基準の遵守

### ○ 取組内容

- ・ 良好な放流水の確保のために、流入水及び放流水の水質状況に応じた運転管理を行う

#### 【実績検証】

年間を通して、流入水・放流水の水質状況に応じた運転管理を実施することができました。

#### 【次年度の取組み】

着色した下水が流入してきた場合、反応タンクでは処理されず放流水のCODを上げてしまうため、通常時にもなるべく良い処理状態を保つことで、着色下水が流入してきた場合でも基準値を守れるように努めてまいります。

来年度からは新たに3池が運用されることにより、流入水の条件によっては生物処理をすることが難しい場合も推測されますが、処理水量とMLSSを調整しながら適切な運転管理に取り組んでいきます。

## ⑨ 地域・社会貢献活動

### ○ 取組内容

- ・ 地域社会に貢献した取り組みを行う

#### 【実績検証】

新型コロナウイルスの影響で活動が制限されていますが、年間を通して、地域や社会に貢献した取り組みを行うことができました。

#### 【次年度の取組み】

今後も引き続き、地域や社会に貢献した取り組みを推進していきます。

## 🌱 目標達成に向けた取組等

### (1) 職員に対する環境意識の啓発

教育訓練の一環として、研修を実施しました。

- ・ (一社)ヘルスケアマネジメント協会による研修  
(新型コロナウイルス感染予防の観点から、資料配布)  
「暑い夏を元気に乗り切りましょう」  
「夏のベストパフォーマンスは熱中症対策から」
- ・ 社内研修  
「エコドライブ10のすすめ」  
「夏季の省エネ・節電の取組み」

### (2) 環境に関連した専門教育の実施

環境関連法規制等に関連した、専門教育を実施しました。

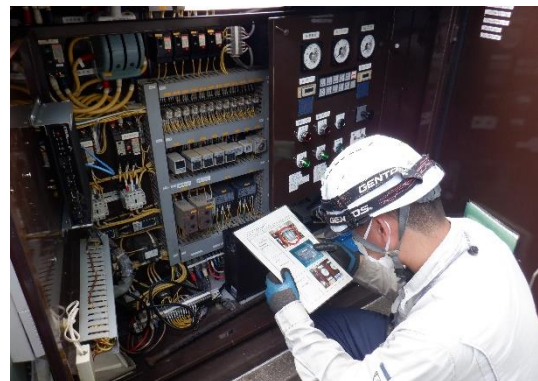
- ・ 広島県一斉防災教育(「マイタイムライン」の作成への取組)(2022年6月)
- ・ 水質教育「ORPについて」(2022年6月)
- ・ 危険物取扱者保安講習(2022年7月、2023年1月)
- ・ 「水処理」技術セミナー(2022年8月)
- ・ 消防用設備等講演会「ガス系消火設備」(オンライン)(2022年10月)
- ・ 停電作業の手順について(2022年12月)
- ・ 水質管理(オンライン)(2023年2月)
- ・ 調査研究発表会(2023年2月)
- ・ 「汚泥処理」技術セミナー(2023年3月)

### (3) 環境上の緊急事態の対応に関する訓練

- ・ 防水板設置訓練(2022年6月)



- ・ 場外マンホールポンプ所における発電機持ち込み訓練(2022年7月)

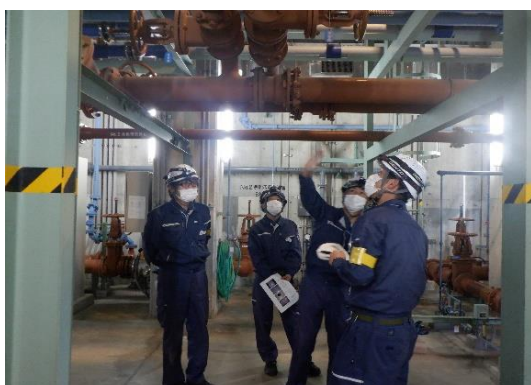




- 広島県「みんなで減災」一斉地震防災訓練（2022年11月）



- 機器故障対応訓練（2022年11月）



- 危機管理訓練（公社合同）（2023年1月）



各対応手順書等を作成し、それに沿って訓練（テスト）を実施し、改善すべき点があれば、手順書を見直すことで、緊急事態に対応できるよう取り組んでいます。

## 地域貢献・環境活動の取組

- 浄化センター周辺の清掃・草刈りを行っています。また月に一度、(公財)広島県下水道公社三原支所職員様と合同で、清掃作業を実施しています。

この場所は、ジョギングや散歩などで多くの方が利用される場所です。今後も地域の方々に、心地よい時間を過ごして頂けるよう、美観に努めてまいります。



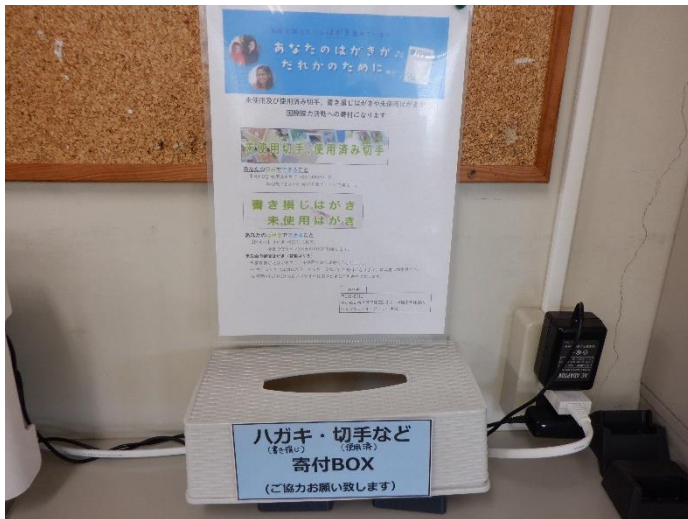
- 浄化センターの正門付近にプランターを設置し、四季折々の花を植えています。一般見学の方や道行く人たちの癒しになるよう努めていきたいと思ひます。花の水やりは、処理水を利用しています。

- 社用車に防犯パトロールのステッカーを貼っています。社用車での走行時には、地域の防犯活動も併せて行っています。

また、緊急時の対策として、場外点検時に通常使用する社用車内にAED(自動体外式除細動器)を搭載しています。



- 未来の子どもたちのために有効利用してもらいたいという主旨の基、三原市の文化芸術の振興・発展を目的とした企業のメセナ活動に賛同しています。その取り組みが顕彰され、三原市芸術文化センター（ポポロ）のホワイエに顕彰板プレート（パネルスタンド）が設置されました。



- 書き損じはがき、未使用・使用済みの切手を集めて、「特定非営利活動法人シャプラニール」に寄付しています。  
 バングラディッシュで児童労働に従事する子供たちの支援に活用されています。例えば、はがき 20 枚が、授業を 1 か月実施する費用相当になります。  
 「国際協力活動」への一助となれば幸いです。



- 社内で、ペットボトルのキャップを集めています。  
 430gで10円分のポリオワクチンが作成できます。  
 一人分は20円必要なので、成果としては微々たるものですが、ポリオワクチン作成の一助となれば幸いです。

- 場内の草刈で発生した草及び清掃時に発生した落ち枝葉などを利用して堆肥を作っています。出来上がった堆肥は、プランターや、ビオトープ周辺に植える花の堆肥として活用しています。



- 各種啓発ステッカー等の一部紹介

<節電>



<節水>



<ごみ分別>



## 環境関連法規への違反、訴訟の有無

当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反は、ありませんでした。また、関係機関等からの指摘、苦情及び訴訟もありませんでした。

法規等の名称	該当する要求事項	遵守評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	分別排出・排出量の抑制	○
下水道法	水質測定結果の記録・保管	○
水質汚濁防止法 (瀬戸内海環境保全特別措置法)	排出基準の遵守	○
	総量規制基準の遵守・測定記録	○
	水質測定結果の記録・保管	○
騒音規制法	法令基準の遵守	○
振動規制法	法令基準の遵守	○
電気事業法	電気工作物の保安規定の順守	○
	電気工作物の工事、維持及び保安の監督	○
消防法	A重油地下タンク貯蔵所及び保管庫の適正管理	○
毒物及び劇物取締法	毒物及び劇物の適正保管管理	○
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	第一種特定製品の点検・適正管理	○
化学物質排出把握管理促進法	性状及び取扱に関する情報（SDS）の受取	○
地球温暖化対策推進法	施設内設備の点検・適正管理	○
水循環基本法	健全な水循環への配慮	○

## 代表者による全体の評価と見直し・指示

- 2022年度の活動を総括すると、社員1人ひとりが「エコアクション21」の理念を理解し、取り組むことの大切さを認識した上で、意欲的に活動することができましたが、取り組みの結果として、以下の項目が目標未達成となりました。

本 社：『電力の削減』、『一般廃棄物の削減』

浄化センター：『電力の削減（放流水原単位の削減）』、『自動車燃料の削減（燃費の向上）』、『ガス使用量の削減』

- 2023年度 目標未達成項目の対策について

- ・電力量の削減

本 社：クールビズ・ウォームビズを推奨し、空調設備を適切な温度、湿度で使用する取り組みを行っていきます。

浄化センター：放流水水質基準を遵守しつつ、効率的な施設運転に努めてまいります。また、作業後退室時の消灯や空調設備の設定温度管理等、1人ひとりができる活動を継続してまいります。

- ・自動車燃料の削減（燃費の向上）〈浄化センター〉

車両使用時の効率的な走行経路の検討及びエコドライブを徹底することで、燃費の改善に努めてまいります。

- ・ガス使用量の削減 〈浄化センター〉

年間を通して設定温度を一定にするのではなく、状況に応じて柔軟に設定温度を切り替える取り組みを行っていきます。

- ・一般廃棄物の削減 〈本社〉

IT（パソコン・スマートフォンなど）活用による書類の簡素化に取り組むとともに、両面印刷や裏紙の使用及び分別の徹底等、3S活動の取り組みを継続して行ってまいります。

- 2023年度の目標設定について

2023年度環境経営活動の基準年は、今年度目標達成項目においては2022年度とし、実績値を基に目標値を算定します。目標未達成の項目においては、2022年度の環境経営計画の実績状況を基に、基準年及び目標値を算定します。

毎年基準年が移行する形になりますが、前年度より削減していこうという主旨で活動を行っていきたいと思っております。

○ 2023年度 取り組み状況など変更予定について

- 浄化センターの契約電力会社が、中国電力ネットワークから中国電力に変更
- 本社、浄化センターともに、電力量二酸化炭素排出係数の更新
- 本社の上水が、戸別検針に変更

温暖化防止・環境保全問題は、すごく大きなテーマで自分たちには何もできないような気がしますが、日々の何気ない『気付き』からの行動が必要不可欠であり、1人ひとりが、まずは自分にできることから始めてみるのが重要であると考えます。

来年度も、全社員が協力して、『小さなエコ活動の積み重ね』を大切にしながら業務を行っていき、持続可能な社会を構築できるよう努めてまいります。